

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月4日(火) 14時00分～15時45分
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者

会長	大野 正博	朝日大学法学部教授
副会長	村井 義史	本校同窓会副会長
委員	福田 恵介	福田刃物工業株式会社取締役【ご欠席】
	平田 久美子	平田建設株式会社取締役
	衣斐 七海	関市産業経済部観光課【ご欠席】
	永田 陽一	本校PTA会長
学校側	武田 理	校長
	関谷 篤	教頭
	植田美智留	教頭
	岸 正美	事務部長
	進 晶彦	教務主任
	杉山 広之	生徒指導主事
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	松野 恭介	特別活動部長

### 5 会議の概要(協議事項)

スクール・ミッション案について、スクールポリシーと合わせて再度協議し委員の了承を得た。各分掌長より令和6年度自己評価として活動実績の報告・次年度への改善点について説明を実施。その後、意見交流、質疑応答を行った。

#### 【スクールミッションの策定について】

意見1 「探究的な学び」という文言から、「探究」なら「関高」と認知されていることが伝わり、大変よかった。

意見2 「探究的な学びを推進した」を入れたことは関高らしくて良いと思う。

質問1 他校のスクールミッションにも校訓がふくまれているのか。

回答 他校のことはまだわからない。

意見3 校訓は素敵なので捨てがたいが、なくてもよいかもしれない。他校とのバランスも大切なので、このままでもよい。

意見4 シンプルになっていると思う。関高を表す文言になっている。

意見5 最初の案よりずいぶん短くなり、分かりやすくなった。

#### 【令和6年度自己評価・学校関係者評価について】

意見1 探究活動と言えば関高と言われるくらい、とてもいい歩みをしている。

質問1 増加する推薦入試希望者に対する指導方法と教員の負担軽減とはどのようなことを指すのか？

回答 生徒の小論・志望理由書の指導において、予備校等の研修を通して教師が指導力をつけてそれによって指導に対する負担（感）を減らすこと。

質問2 関高を希望する幅広い学力層の生徒について、進路指導として方策はどうしているか。

回答 上位層だけでなく、それぞれの生徒の学力に合わせ指導をしている。

質問3 生徒会の公式 SNS の発信について、どういう目的で実施しているのか。

回答 生徒会の活動を広く知ってもらうこと、文化祭について広く PR に使用するため。

意見2 SNS について、個人の発信では許されることが多いが、公式となると厳しいルール、運用条件が必要である。生徒の意欲を大事にするべきだと思うが、必ず監督者をつけなければならないと思う。

意見3 入試の多様化、出願方法もいろいろあり驚いている。入試情報や小論文の指導についても教職員に対してだけでなく、直接生徒への予備校等の講座もあっていいのかなと思う。先生の負担も軽減できる。

意見4 中学校では部活動が地域クラブ活動に移行しつつある。学校単位での部活動という（活動の）選択肢が減ることは残念である。働き方改革に配慮も必要だが、高校では形が変わってもよいので続けて欲しい。

意見5 海外研修は、行く前に 8 割ほど決まると思っている。事前研修なしで現地を訪問すると、社会見学で終わってしまう。せっかく岐阜大学と協働されるのであれば、事前研修をしっかりと行ってより効果のある海外研修を実施して欲しい。

回答 関高校では、事前学習でベトナムのことを学ぶだけでなく、関高校・関市・岐阜県のことを発信することにも力を入れて事前研修している。

## 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、スクールミッション修正案について再度協議し、出席された委員の皆様より了承を得ることができた。今後も本校の特徴でもある「探究的な学び」を通して、スクールミッション遂行を目指して取り組みたい。

今年度の各分掌活動実績報告に対して、学校外部の委員様ならではの視点から有益なご助言をいただいた。次年度の学校経営において参考としていきたい。